

令和3年度第4回豊明市地域公共交通会議 議事録
 (豊明市地域公共交通活性化協議会合同会議)

日 時 令和4年1月12日(水) 午前9時30分から午後11時15分まで
 場 所 豊明市役所新館4階 第1委員会室
 出 席 者 17名
 欠 席 者 7名
 事 務 局 豊明市役所 行政経営部 企画政策課
 (株)国際開発コンサルタンツ(オブザーバー)

傍聴の可否 可

傍聴の有無 有(4名)

議 事

【協議事項】

(1) 豊明市地域公共交通計画の策定について

【報告事項】

(1) 豊明市地域公共交通計画の策定に係るパブリックコメントの実施について

議事内容

※内容(要旨)では、チョイソコとよあけを「チョイソコ」と記載しています。

発 言 者	内 容 (要 旨)
	開会
会長挨拶	
【協議事項】 (1) 豊明市地域公共交通計画の策定について	
委 員 (愛知運輸支局)	<p>課題部分から言うと、56ページ集約課題3「安全安心な利用を可能にする情報提供」ここまではいいんですが、「サービス維持に向けた利用促進」というと、利用促進をしてサービス維持をしましょうというように読めるが、これだと運賃収入だけでサービス維持するのかというように見えてしまう。</p> <p>そもそもサービス維持が出来ているかどうかという部分を何で図るのかという部分が、評価指標からは見え辛い。サービス維持を利用促進の目的とした場合、それをどう評価するのかだと思うので、サービス維持に向けたという文言を何か別のものに変えたほうがいいのではと思う。</p> <p>同じように61ページ集約課題5「地域特性に応じた移動ニーズへの対応と公共交通維持の仕組みづくり」、これも文言だと思うが、例えば上の基本方針の中だと、地域公共交通を育む仕組みになっていて、一方で下の取組の方向性だと下線が引いてあるが、公共交通を支える取組を検討・実施となっている。</p> <p>公共交通維持として考えた場合、その維持をするための個別事業とし</p>

	<p>て、みんなで頑張りましょうとしか書いていないように見えるので、個人的には支えるにしたらどうかと思う。</p> <p>個別事業で言うと、最近の状況を申し上げると、タクシーもトラックもみんなそうだが、やはりドライバーがいないというのが根底にある。タクシーは特にひどく、この2年程で1割以上も人が減っているという状況がある。その影響で、名古屋市内は配車出来ても、名古屋から一歩離れたその周りの都市が配車されにくいという状況が増えてしまっている状況がある。</p> <p>なので、53ページ基本方針1に取組の方向性の中か、その目標を達成するための事業か、何か人材確保に関わるような記述があってもいいのではないかと感じた。他自治体だと、他の業種でもいっぱいあると思うが、自治体の催しと合わせてリクルート活動というのを行政と一緒にやっている事例もある。あと例えば二種免許を取るための費用を助成してもらうなど行っている自治体もあるので、何か人材に関わるような記載が入ると良いと感じた。</p> <p>最後、追加でいただいた資料の中の、おたがいさまセンターちゃっとである。ここを見ると実施主体が豊明市健康長寿課になっているが、豊明市のホームページを見ると、確かにホームページの発行は健康長寿課だが、JAや生協などが主体というように書いてあるので、この実施主体が健康長寿課でいいのかどうか、そこは御確認をいただければと思う。</p>
事務局	<p>まずはサービス維持の文言を変えてはどうかということだが、利用がなければ、そもそもサービス維持は難しいと考えている。利用促進を図っていくことが、サービスの持続的な継続につながると考えているため、このような表現をさせていただいている。</p> <p>次に育む仕組み、支える取組ということだが、これはそれぞれの地域の方たちには、主体的にいろいろな地域の交通問題に対する議論を深めて地域で仕組みを育んでいただきたく、そのために行政は地域への支援を行うということを表示している。支える取組については、行政だけではなく、多様な主体全体で連携して、一緒に交通を支えていこう、ということを表示している。</p> <p>最後におたがいさまセンターちゃっとについては、実施主体に健康長寿課と記載されている。再度確認はするが、あくまでもこの事業の所管課ということで記載をしている。</p>
松本会長	<p>ありがとうございます。人材確保についてはいかがか。</p>
事務局	<p>ドライバー不足、人材確保に関するような内容については、54ページの取組の方向性、①交通ネットワークの確保・維持の三つ目の部分、ここにタクシーに関する内容で、買物代行サービスの導入の検討や、行政と連携した取組を実施という記載がある。先ほどの人材不足の内容については、市内の事業者と相談させていただきながら、市とどういうPR</p>

	<p>ができるか今後検討させていただきたい。リクルート活動は、ここの行政と連携した取組の中に含まれるという解釈でご理解いただきたい。</p>
松本会長	<p>明記はされないが、含まれるということである。55ページの目標を達成するための事業で需要に応じたサービスの提供継続とあるが、需要が十分あるのに、サービスが提供出来ないということは、当然ここでは考えず、それに応じた手だてはとっていただくということになるかと思うので、読めるといえば読める。イメージはされていないが、ということだと思ふ。</p>
委員 (愛知運輸支局)	<p>無理やり押すわけではないが、サービス維持に向けたという部分は、では何で図るのか。その評価指標が、結局利用者1人当たりのものしかないのでは、という意味で発言をした。結局、後で評価がしにくいのではとないかと申し上げている。</p> <p>なので、別にこのサービス維持に向けたという文言はあってもなくても意味が通じると思い、別にそのためだけに利用促進するわけではないのではと思っているがいかがか。</p>
事務局	<p>サービス維持に向けた利用促進で、計画の中の指標というのは記載のとおりとしたいところである。ただ、例えばチョイソコでいうと、利用者数や事業コスト等の検証を市の内部で3年ごとにしっかりと行っていくこととなっている。計画の中に記載はないものの、そういった検証結果を踏まえ、サービス維持に向けてどのような方法で利用を促していければよいか、連携しながら検討させていただければということで、ここではこういった表記をしているところである。</p>
委員 (愛知運輸支局)	<p>他の市町のことを申し上げると、会議の中で、計画には書かないまでも、どういうもので進捗管理するもしくはデータは何を使うかを、別で会議用に用意している自治体もある。なので、今のお答えをされるのであれば、今後、この会議の中で、内部の検証結果や検証に使ったデータ等はいただけるという理解でよいか。</p>
事務局	<p>そのようにさせていただく。市の内部だけの話ではなく、公共交通全体に関わる事案になりますので、当然この会議において、委員の皆様のご意見はお伺いしていく形になると考えている。</p> <p>また、補足として73ページにあるように、各事業の評価検証については計画期間の毎年度実施させていただくということで、利用実績や負担金など、年度ごとの1回目の協議会において、報告をさせていただく予定なので、御理解いただきたい。</p>
委員 (アイシン)	<p>ちょっと別かもしれないが、安定した運用に向けてという形で、チョイソコは現在全国で約30ヶ所に拡大してきているが、その半分弱は車へのラッピングによる広告収入がある。それから他の事例として、運行がない時間にチョイソコ車両を活用して、高齢者への弁当宅配に使うといった、人を、住民の方を運ぶだけではなく、色々なサービスを組み合わせることによって、収支の安定化というのを図ってる動きをがある。</p>

	<p>豊明市については、まだ別の用途で使ってみようというところまではいっていないが、今後サービス維持を検討していく中で、令和4年度以降こういう活動もしていこうということを入れるのはいかがか。</p>
事務局	<p>今の内容について、60ページの下から二つ目の網かけ部分にあるように、今後はひまわりバス車体のラッピングや、運転席の上部モニターを活用した広告掲載、バス停のネーミングライツなどにより、収入確保を進めていきたいと、そのように考えている。</p>
松本会長	<p>そういう意味では、ひまわりバスと限定して書いてあるので、今の話だとチョイソコでも可能ということなので、ひまわりバス『等』と記載したらどうか</p>
事務局	<p>そのように修正する。</p>
松本会長	<p>ひまわりバス等とすれば、タクシーも含めてだと思ふ。広く、公共交通全般についてこのような形での収入の獲得というのを目指していけるように修正をお願いする。そうすると、最初のサービス維持に向けた利用促進というのは、これも利用促進だけではなくて、そのほかの金銭的なサービス維持に向けた手立ても含まれているので、これも大きくなると大変なため、利用促進等にしてはどうか。</p> <p>そして、それをどうやって指標としてチェックするかという結果としては、先ほどの1人当たり負担金であり、この負担金には広告収入の額を引けば当然負担金は減っていくということで一応確認はできるということになるという整理でいかがか。</p> <p>それから、別で気になったのは61ページ、育む仕組み、支える取り組みという言葉でさらっと書かれているが、受け止める人によって大分ニュアンスが違って来るだろうと感じている。支えると育む、それぞれ意味が大きく違う。そういうような指摘はあり得るのではと思っている。この辺りは、そういう意見もあるということでちょっとこの場で直すのは簡単にはいかないと思うので、実際にパブコメの結果やこの会議の意見も受けて、最終案にて、精査、あるいは見直しの検討をしてもらえればと思う。</p> <p>それから、人材確保に関しては確かに読めますので、先の説明で結構だと思いますが、実は昨日、名古屋港湾関係の物流関係の会議があり、物流関係でも全く同じ問題で、トレーラーの運転手が全然いないという状況になっているみたいである。どんどん高齢化していくばかりで、あと数年後、10年20年後、どうなるかわからない。公共交通も一緒に、色々なところで人材が不足しているという、大変厳しい状況であり、そういう意味で、この公共交通の利用減少というのは、色々なところで話をさせてもらっているが、このコロナによって利用者が減った、それは、生産年齢人口が減ってくる日本の将来の姿の先取りであり、実は人材不足も日本の将来の姿の先取りなのだと思う。なので、それを乗り越</p>

	える手立てをやっぱり考えていかないといけないという気はしている。
委員 (名古屋市交通局)	<p>おたがいさまセンターちゃっとの件であるが、もともとこの計画の中に、記載される事項としては交通に関連した他分野の取組ということで追記がされたかと思うが、その交通に関連したというところが、今の記載のままだと分かりづらいと感じる。もう少し一般の方が見ても分かるように、交通に関連した事業だということが伝わるように、記載できないか。</p> <p>それから、大変すばらしい取組として、最後に活用した時間を貯金して将来自分が困ったときに、使える、これすばらしいなと思ったが、活用じゃなくて、活動の間違いではないか。</p>
松本会長	活用は間違いだと思われるため、修正をお願いする。あと交通に関することだというようなことが分かる記載をとのことだが、事務局いかがか。
事務局	今のご意見のとおり、この表記だと福祉的な要素が非常に強く出ているため、買物代行などの移動に関するようなものは残し、後のごみ捨てや草刈りのようなものは削除し、「等」でまとめて表記させていただきたいと思う。
委員 (市民公募)	65ページの上から3行目、高齢者による交通事故の減少、外出促進、自立の助長とあるが、三つ目の自立という言葉に違和感を覚える。このサービスを受ける方は、例えば寝たきりとか、常時車椅子を利用されている方で、すごく不自由な方が利用すると思う。その方が対象なのに、自立ってというのはどうかと感じた。
事務局	車椅子の方や、寝たきりで生活されてる方などが対象で、今のご指摘のこの自立の助長ってというのは、あくまでもご本人様が、できるだけ自分でできることはやりたいというような意識のある方に対して、それを助長するという意味になるので、全員を自立してやりなさいという、そういった意味での表記ではないということをご理解いただければと思う。
松本会長	ありがとうございます。ただこれは、こちらで決められることではなくて、定めている目的にこのような表記があつたらこっちで勝手に変更することができないので、一度確認をお願いする。このままの表記であれば、それはそのままだということだと思う。
委員 (労働組合)	1点だけ細かいところだが、6ページのマップの中の藤田医科大学病院の位置にあるところが、昔の表記になっているので修正したらどうか。
事務局	修正する。
委員 (愛知運輸支局)	細かいところだが、71ページのところが公共交通会議になっているが、計画の進捗は法律上、活性化再生法に基づいた協議会で管理することになっているため、協議会に統一をお願いする。

松本会長	協議会に修正するようにお願いします。
委員 (公募委員)	少し関係ないかもしれないが、前後駅にはタクシーが比較的待機していることが多いが、豊明駅にはほとんどいない。何か待機のルールがあるのか。
委員 (あんしんネット)	あんしんネットなごやは、利用者にご迷惑をおかけしているが、前後駅や豊明駅の待機が認められていない。
委員 (東名交通)	人材不足によるところが大きい。こうしたことから、利用者の多い前後駅や藤田医大が中心となってしまう。時間帯も踏まえて考えてはいるが、豊明駅についてはどうしても居ないことが多くなる。
松本会長	ちなみに、アプリで呼んだ場合はどうなるのか。
委員 (あんしんネット)	アプリで呼んでいただいた場合も、待機場所ではなく、少し離れたところで乗車いただいている。
松本会長	基本的なルールや枠組み自体は必要だと思う、共存共栄という意味で。ただ一方で、アプリで呼んで予約した方を乗せるためであれば、別にそれはそばまで着けてもいいのではないかという気はするし、利用者視点が欠け過ぎている気がしてしまう。
委員 (あんしんネット)	利用者にご迷惑をお掛けして申し訳ないが、現状ではできないこととなっている。
委員 (愛知運輸支局)	<p>実はその構内営業は、営業圏と言いつつも、お金を払ってそこへ停めているという現状がある。例えばその区画を線を引いてタクシー乗り場ですよという案内等を整備いただいているところがあって、そこにお金を払って停めさせてもらっていると。なので最近だと、その人材不足というのもあるし、中々タクシーが狙ったところに着けられないというのもある。</p> <p>そんな中、問題を整備して、タウンターミナル化するという考えが最近少しずつ出てきたかなという気がする。ただそれが一般的かというところではなくて、やはり事業者の方が持ち寄って、何とかその乗り場を維持していただいているというような状況である。</p>
松本会長	人材も足りない。台数も足りない。一方でタクシー事業者さんたちが自分たちで持ち出してそういう場所の確保をしていただくというのも段々と重荷になってくる可能性がありますので、そういう意味では公共で整備して、オープンに使っていただくというのも一つの方策かもしれない。簡単には出来ないと思いますが、そういう構造的な問題もあるということで認識いただければと思う。
委員 (労働組合)	公共交通ネットワークのイメージの矢印の中で、東郷町のところに、みよし市の境と結ぶ緑の矢印があるんですけども、おそらく東郷町のじゅんかい君の路線だとは思いますが、この矢印だけどこどこを結んでるかの地点が書いてないため、どこを結ぶ路線なのか分かるようにしたらどうか。
事務局	緑の点線につきましては、都市連絡路線という形で本市と大府市や東

	<p>郷町を結んでいるものとして位置付けています。ご指摘の矢印についてはじゅんかい君であると思われるが、今じゅんかい君は豊明市とつながっておらず、豊明市とつながっているのは藤田医大とららぽーとを結ぶシャトルバスのみである。一度調べてみて、必要があれば他と同じように至 ○○ という主要施設や駅などの記載を追加させていただきたいと思うが、じゅんかい君の路線であれば、削除という形にさせていただきたいと思う。</p>
<p>【報告事項】 (1) 豊明市地域公共交通計画の策定に係るパブリックコメントの実施について</p>	
<p>委員 (名古屋市交通局)</p>	<p>参考までにお尋ねするが、この計画内容の市民等への、公表の方法と、意見を提出する手段としてどういったものが予定されているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>パブリックコメントの実施について、広報2月号に掲載し、市民の皆様様に周知する予定となっている。併せて、ホームページ上での告知や、窓口来庁された方向けに窓口配布も予定している。</p> <p>提出についてはメール、FAX、窓口へ直接提出のいずれかで提出していただくことになる。</p>
<p>松本会長</p>	<p>パブリックコメントは、住民参画の仕組みとして入ってきたものだが、なかなか日本には浸透していない。私自身も、自分の自治体で色々なパブリックコメントが実施されていると思っているが、何をやっているかの情報は全く入ってこない。取りに行かないと情報が入らないですから。</p>
<p>委員 (名古屋市交通局)</p>	<p>参考までに、名古屋市も様々な計画を立案する際に、パブリックコメントは必ず実施するわけであるが、交通関連の計画だと、私ども市バス地下鉄事業は、非常に日常生活に密着している事業ということで、意見募集をすると、市の様々な福祉関係や総合計画などの件数より相当な数の意見が届く。公表する際は、日頃利用されている地下鉄の駅であったり、バスの車内等でも案内と周知をしている。多くの方に関係する事案かと思うので、広く周知いただいて、広く意見をいただくのがいいかなと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。バス車内や前後駅待合所でもパブリックコメントの周知をさせていただく。</p>
<p>【了】</p>	